

# 第65回税理士試験

## 簿・財 『会計人コース』のココが出た!

今年の本試験でも本誌から多数の問題が的中しましたので、一部をご紹介します。本号では特集「第65回税理士試験 出題分析と2016年への対策【簿・財+国税4法】」を、10月号別冊付録では「第65回税理士試験 問題と模範解答」を取り上げています。こちらもぜひご覧ください。

### 簿記論 [第一問]

**【第一問】 一問一答**

**問1** ども建設に係る工事契約による施工業務の一連の仕訳について、以下に示される資料を参考にして、日次帳(③)から変動(④)までに記入する金額または勘定科目を答えなさい。

なお、期中における各種工事契約の発生に係る仕訳及びそれらによる工事支出金に振替る仕訳は省略している。

また、は当該工事契約に係るX3年度の売上総利益の金額を答えなさい。

**【資料】**

- 建設会社を営む会社(会計期間：4月1日～翌年3月31日)は、X1年6月10日に、Z社の建設に係る工事契約を締結した。契約における工事収益総額は、45,000万円であり、施工費である当社の工事原価総額は、30,000万円である。
- Z社建設の完成までには2年を要すると予定されている。
- 実際の工事進捗は、次のとおりであった。

	X1年度	X2年度	X3年度
総 務 費	2,000	5,000	500
常 務 費	4,000	6,500	2,500
経 費	1,000	4,500	1,000
合 計	12,000	16,000	4,000

なお、X2年度の期首に工事原価総額が、32,000万円に増加すると見積り直された。

- X2年7月1日に、工事収金の一部として、10,000万円が当社の当座預金口座に振り込まれた。
- X3年6月30日に、Z社が完成し、直ちに引渡しを行った。残りの契約代金は、1ヶ月間の予定日に引当りされることとなっている。
- 工事の進捗率は、原価総額が安い、その進捗率によって実際の確実性が認められるものとする。

正解

**問1 工事契約**  
7月号特集「簿記論 解いておきたい良問ベスト3」金子友裕  
6月号付録「論点別 総まとめ問題集」平井孝道 ほか



**問2 ストック・オプション**  
8月号特集「簿・財 ヤマ当て先生に聞く 2015年出題予想」栗原正樹  
7月臨時増刊号『でる順予想号』簿記論 吉田智也  
7月号付録「計算問題タイムトライアル」並木秀明  
5月号連載「基礎から始める簿記論・財務諸表論」並木秀明 ほか

**【資料】**

- 当社は会計期間：4月1日～翌年3月31日、X1年6月20日に行われた株主総会において、エリア・マナーギャ社の従業員30名に対して、次の条件のストック・オプションを付与することを決議した。

(条件) ・ストック・オプションの数は 従業員1名当たり、2,000個。  
 ・ストック・オプション1個の行使に対して1株の自社の株式が与えられる。  
 ・ストック・オプションの行使の特典払込金額：1株当たり、2,000円。  
 ・ストック・オプションの権利確定日：X3年6月30日。  
 ・ストック・オプションの行使期間：X3年7月1日～翌年6月30日まで。  
 ・ストック・オプションを行使し行使する場合は禁止されている。  
 ・ストック・オプションの権利行使は、行使時に自社に利益している場合のみ、行うことができる。
- X3年7月1日に、上記ストック・オプションを対象者に付与した。
- なお、行使日にはストック・オプションの公正な評価額(株価)は、300円である。
- 期中進捗率は当初見込まれていたが、X2年4月1日に、1名が自己辞職による退職した。
- X3年7月1日に、権利が確定した者のうち、18名が権利行使を行い、権利行使に伴う払込金額を、当社の当座預金口座に振り込まれた。権利行使を行った者は、自社の新株を発行した。
- なお、払込資本となる金額のうち、2分の1を資本準備金に計上する。
- X3年7月10日に、権利が確定した者のうち1名が権利行使を行うことなく、自己辞職により退職した。

**【解答方針】**



### 財務諸表論

**【第一問】 引当金関連**  
8月号特集「専門学校5校の直前予想をイッキ見」  
7月臨時増刊号『でる順予想号』財務諸表論  
4月号連載「基礎から始める簿記論・財務諸表論 理論編」小林秀行  
3月号付録「持ち歩き財表理論」長島正浩  
11月号連載「ワンランク上の簿記論・財務諸表論」香取智宜 ほか



**【第一問】 一問一答**

引当金の計算等が以下のとおりとなる。

- 次の表「貸借対照表(貸借)」は、期末時点のものとする。中間(①)中の( )に示す数字を記載する際、( )内の数字は必ずしも整数である。中間(①)中の( )に示す数字を記載する際、( )内の数字は必ずしも整数である。中間(①)中の数字は必ずしも整数である。中間(①)中の数字は必ずしも整数である。

貸借対照表(貸借)の数字は以下のとおりである。なお、( )中の数字は必ずしも整数である。

貸借	金額
① 現金	100
② 債権	200
③ 債権の引当金	( )
④ 債権の引当金の繰上	( )
⑤ 債権の引当金の繰下	( )
⑥ 債権の引当金の繰上	( )
⑦ 債権の引当金の繰下	( )
⑧ 債権の引当金の繰上	( )
⑨ 債権の引当金の繰下	( )
⑩ 債権の引当金の繰上	( )
⑪ 債権の引当金の繰下	( )
⑫ 債権の引当金の繰上	( )
⑬ 債権の引当金の繰下	( )
⑭ 債権の引当金の繰上	( )
⑮ 債権の引当金の繰下	( )
⑯ 債権の引当金の繰上	( )
⑰ 債権の引当金の繰下	( )
⑱ 債権の引当金の繰上	( )
⑲ 債権の引当金の繰下	( )
⑳ 債権の引当金の繰上	( )
㉑ 債権の引当金の繰下	( )
㉒ 債権の引当金の繰上	( )
㉓ 債権の引当金の繰下	( )
㉔ 債権の引当金の繰上	( )
㉕ 債権の引当金の繰下	( )
㉖ 債権の引当金の繰上	( )
㉗ 債権の引当金の繰下	( )
㉘ 債権の引当金の繰上	( )
㉙ 債権の引当金の繰下	( )
㉚ 債権の引当金の繰上	( )
㉛ 債権の引当金の繰下	( )
㉜ 債権の引当金の繰上	( )
㉝ 債権の引当金の繰下	( )
㉞ 債権の引当金の繰上	( )
㉟ 債権の引当金の繰下	( )
㊱ 債権の引当金の繰上	( )
㊲ 債権の引当金の繰下	( )
㊳ 債権の引当金の繰上	( )
㊴ 債権の引当金の繰下	( )
㊵ 債権の引当金の繰上	( )
㊶ 債権の引当金の繰下	( )
㊷ 債権の引当金の繰上	( )
㊸ 債権の引当金の繰下	( )
㊹ 債権の引当金の繰上	( )
㊺ 債権の引当金の繰下	( )
㊻ 債権の引当金の繰上	( )
㊼ 債権の引当金の繰下	( )
㊽ 債権の引当金の繰上	( )
㊾ 債権の引当金の繰下	( )
㊿ 債権の引当金の繰上	( )

簿・財〔第二問〕や〔第三問〕総合問題、各税法の的中・類似箇所なども随時ご紹介していきます。『会計人コース』を毎月しっかりと解いていけば簿・財の独学合格は可能です！ぜひ2016年の本試験合格を目指して一緒にがんばっていきましょう。